



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(五十九)

令和六年五月二三日・二四日、

曹洞宗檀信徒会館において、創立五〇周年記念式典・シンポジウム・記念講演を開催いたしました。

全国曹洞宗青年会(以下、全曹青)は昭和五〇年秋の発会以来、諸先輩方の惜しみない努力と関係諸団体のお支えによって創立五〇周年の節目を迎えることができました。

現在の全曹青現役会員が精力的に活動できておりますのも、諸先輩方と関係各位のご尽力あつてのものです。記念式典・シンポジウム・記念講演は、当時の青年会員、現役の青年会員、そして未来の青年会員の想いを繋ぎ合わせるこ



「全国曹洞宗青年会創立五〇周年

記念式典・記念シンポジウム・記念講演」開催報告

会長 田ノ口 太悟
たのくち たいご

を目的に企画いたしました。

二三日、午後二時開始の記念式典では、仏祖諷経・全曹青物故者慰霊諷経・能登半島地震慰霊追悼黙祷を執り行い、全曹青会長として冒頭のご挨拶をさせていただきました。

その後、大本山總持寺よりご来臨いただいた石附周行紫雲臺猊下より、草創期の全曹青についてお話をいただきました。猊下にお出ましのいただき、直接当時の経緯を知ることができたことは、現役の青年会員、また全国からご随喜された加盟曹青会会員各位におかれても最良の時間を過ごせたも

のと存じます。猊下のお時間をいただけたこと、会員一同感謝申し上げます。



午後三時半よりは、全曹青歴代会長にご登壇いただき、「未来への結集」をテーマに記念シンポジウムを開催いたしました。歴代会長の皆さまを二部に分け、それぞれの期の活動についてご質問し、それに対してお答えいただく形で進行了しました。

当時の当事者でしか知り得ないようなこと、当時の青年会のおかれていた状況、そして何より当時の青年会員の想いを伺うことができました。青年会員の想いを現役青年会員、そして未来の青年会員へと繋ぐことのできるシンポジウムになったのではないかと思います。

翌二四日は戦場カメラマン・フォトジャーナリストの渡部陽一氏をお迎えし、「レンズ

からの宗教×戦場の死生観」を演題に記念講演を行いました。テレビで見える渡部氏の柔らかな話し方と、それとは対照的な戦場の現実を、若い頃からの体験を交えて語っていただきました。

今回の記念式典・シンポジウム・記念講演は、創立五〇周年行事の中でも最も象徴的な行事です。その行事に紫雲臺猊下のご来臨をいただきましたこと、改めまして御礼申し上げます。



● 執筆者プロフィール

田ノ口太悟

福岡県曹洞宗青年会所属